

令和2年7月豪雨における中国地整の14日以降の対応状況

○防災ヘリ「愛らんど号」による上空調査

7月14日 14:00 から江の川の被災状況調査を実施 （飛行ルートは別紙1）

○リエゾン派遣状況

7月14日

<島根県>

島根県←出雲河川事務所 2名
江津市←浜田河川国道事務所 1名
川本町←浜田河川国道事務所 1名
邑南町←浜田河川国道事務所 1名
美郷町←浜田河川国道事務所 1名

<広島県>

広島県←中国地方整備局 3名
広島市←広島国道事務所 2名
三次市←三次河川国道事務所 1名

7月15日

<島根県>

島根県←出雲河川事務所 2名
江津市←浜田河川国道事務所 1名
川本町←浜田河川国道事務所 1名
邑南町←浜田河川国道事務所 1名
美郷町←浜田河川国道事務所 1名

7月16日

<島根県>

江津市←浜田河川国道事務所 1名
川本町←浜田河川国道事務所 1名

7月17日

<島根県>

江津市←浜田河川国道事務所 1名

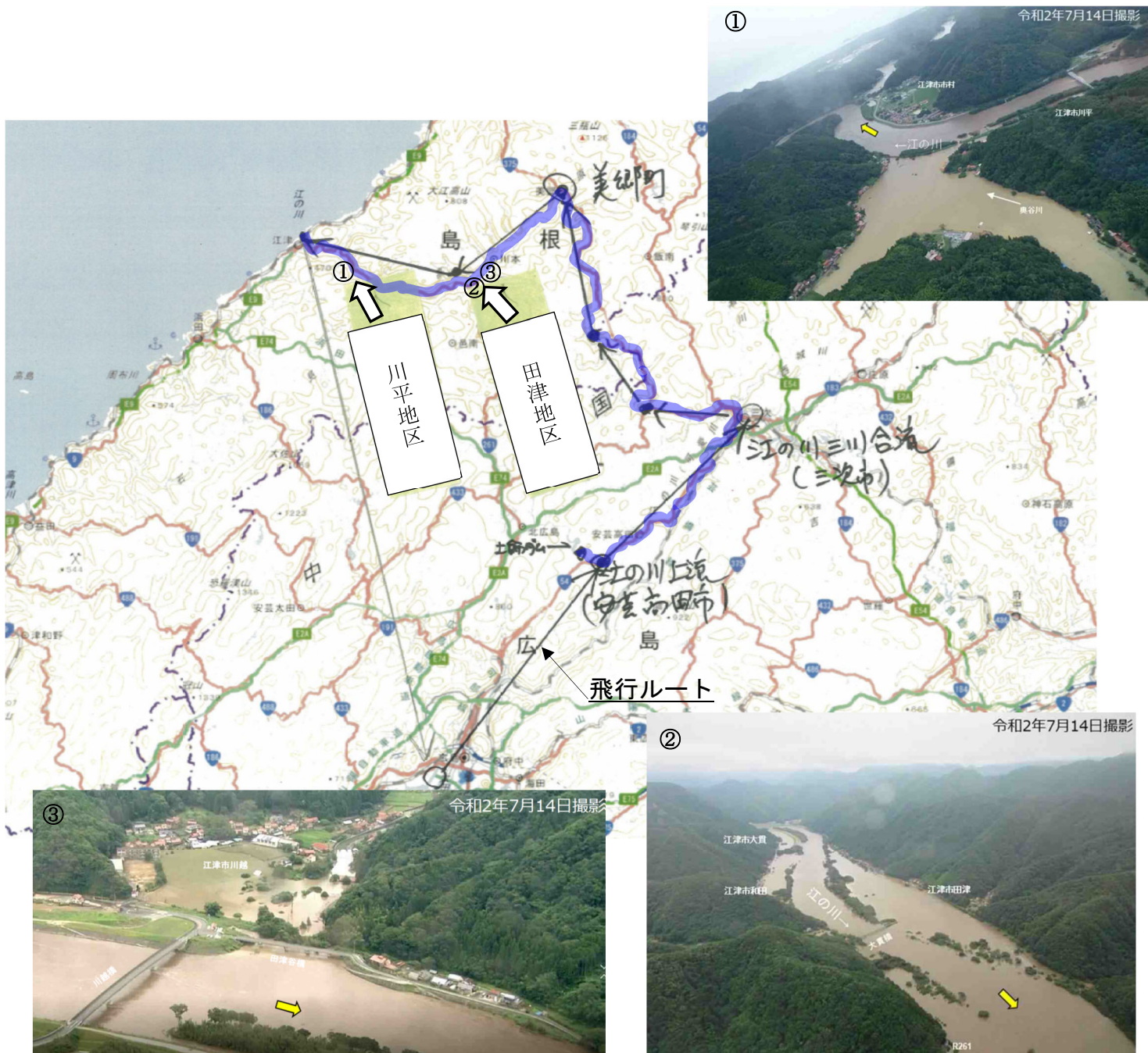
※派遣先の各自治体からの支援要請等はなし

○自治体支援

佐波川水防拠点の備蓄資材の活用による支援（山口河川国道事務所）

- ・7月15日山口県から「災害時における相互協力に関する基本協定書」に基づき、仁保川の被災箇所への資材の支援要請あり。佐波川水防拠点に備蓄している水防資材の支援を実施。
- ・7月16日山口県が搬出を開始し、7月23日設置完了
（別紙2参照）

防災ヘリ「愛らんど号」の江の川の被災状況調査
飛行ルート図



佐波川水防拠点の備蓄資材の活用による支援

○佐波川水防拠点に備蓄していたテラポット(2t)、3連ブロック(2t)、袋詰め玉石を活用し、山口県が実施する復旧活動を支援。



佐波川水防拠点は、災害時における水防活動や災害復旧の拠点としてブロック、土砂など必要な緊急用資材を備蓄し、迅速で適切な取組を実施するため関係機関と連携した訓練等も実施している。また周辺地域は、防府市の憩いの場として多くの市民に親しまれ、利用されており、環境学習や防災教育の場にもなっている。



支援資材

テラポット(2t) 342個
3連ブロック(2t) 301個
袋詰め玉石 58袋

(7/19)



テラポット(2t)を護岸崩壊防止に活用

仁保川復旧状況



仁保川被災状況



佐波川水防拠点資材備蓄等状況



備蓄資材を搬出



水防拠点前での防災教育実施状況

備蓄資材搬出状況